

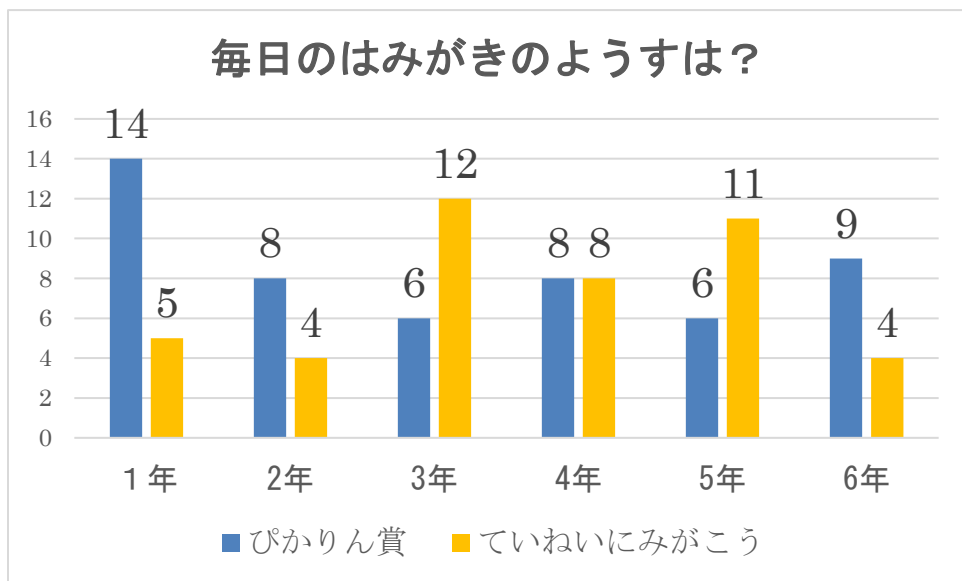
ほけんたより 8月

桜谷小
保健室
R2. 8

おうちのみなさんへ

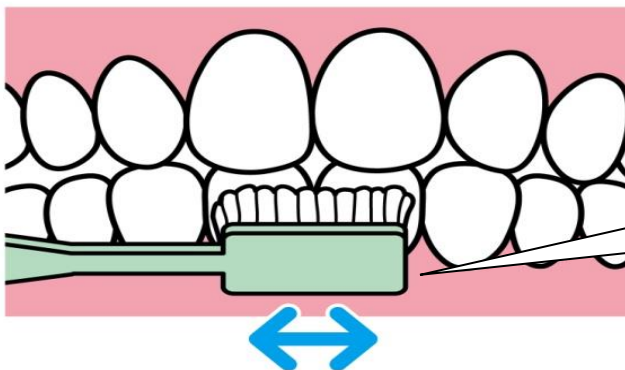
7月30日に行いました歯と口の健康診断。学校歯科医の中川先生には、むしばがあるなしに関係なく、毎日のはみがきがじょうずにできているかどうかを、ていねいにみていただきました。学年ごとに中川先生がアドバイスをしてくださったのでお伝えします。

結果は下の「はみがきのようすは？」のグラフをみてください。



★1年生2年生は、ほとんどの子どもたちが、「ピかりん賞」（はみがきがじょうずにできていました）でした。子どもの力だけでは無理があります。おうちの人の熱心なはたらきかけが、結果に結びついていました。今はきれいな歯がキープできて

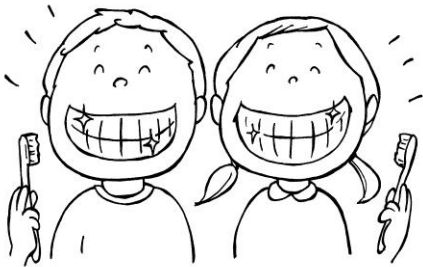
いますので、4年生まではおとなのていねいな仕上げみがきをお願いします。



歯と歯ぐきの境目に
当てる！

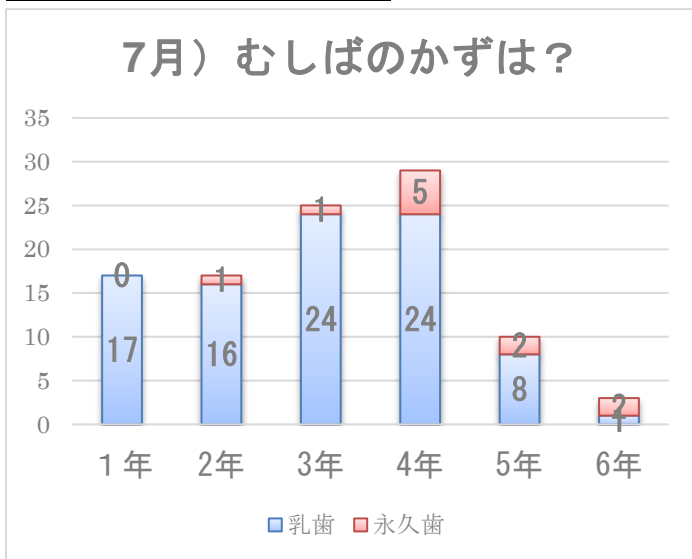
★3年生4年生の学年になると、
口腔は乳歯あり、永久歯ありです。

そして乳歯が抜けて永久歯が生える時期です。この生えたての歯を見逃さないでください。親の手がだんだん離れたして、仕上げみがきがていねいにできていないことがとても残念です。



特に下の歯の永久歯の歯と歯ぐきの境目に、よく見ると歯垢が残っています。そこに歯ブラシをきちんと当ててみたらバッチリです。歯垢がある部分は歯ぐきが腫れます。歯石も作られます。歯垢の積み重ねをつくらないことが大切です。

★高学年になると仕上げみがきからは卒業です。子どもの力だけにかかってきます。5年生は半数以上がみがけていませんでした。おうちで、はみがきをしているときに「前歯のつけ根の部分にハブラシを当てる」(絵の部分)ことを声かけしてください。6年生の数名についても、ハブラシを歯ぐきの境目にあてることを意識させましょう。1日のよごれはその日のうちにとってしまうことが大切です。



●くわしい結果は、個人の「けんこうのしろく」と保護者向けの「結果のおしらせ」でお伝えします。

「健康な歯」の児童が徐々に増加傾向！
今までの積み上げの成果です！

